

令和6年2月8日  
松山港湾・空港整備事務所

## 「松山港外港地区」の水深 13m 岸壁延伸 ～国内最大級の大型起重機船により ケーソン(約 1,500t)を吊り上げます～

松山港外港地区では、増大する外貿コンテナ貨物や非効率な輸送体系にある外貿バルク貨物の輸送の効率化を図るため、大型船が係留可能となる水深 13m岸壁を整備しています。

水深 13m岸壁はケーソン（コンクリートで作られた箱状の構造物）で構成されており、今般、陸上で製作されたケーソン（質量：約 1,500t）を国内最大級の大型起重機船（吊能力：3,700t）で吊り上げ、現地に据え付けを行います。

ケーソンの吊り上げは下記の日程で実施します。

- 工事名称：松山港外港地区岸壁（-13m）築造工事
- 工事内容：ケーソン【12.4m(L)×7.4m(B)×19.1m(H) 質量約 1,500t】据付 1 函
- 日 時：令和6年2月15日（木）

作業準備開始	8:30～
ケーソン吊上	10:00～
- 吊上場所：伊予市下水浄化センター（伊予市下吾川 1693-3）
- 取材予定時間：8:30～11:30

※ケーソン据付については松山空港制限区域内の施工のため、空港運用時間外の2月16日（木）0:00～4:00の実施予定となっておりますので、取材対象外とさせていただきます。

※取材を希望される方は令和6年2月14日（水）12時までに別添申込書にて、mail・FAXでお申し込みください。

※現地の受付場所・注意事項については、別紙を参照ください。

### 【問い合わせ先】◎主な問い合わせ先

四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所（TEL:089-951-0161）

・副所長 川口 悦史 ◎保全課長 小松 誠二

※作業時間は前後する場合がありますので予めご了承ください。

位置図



(国土地理院地図 (標準地図) を基に松山港湾・空港整備事務所が作成)

当日の作業内容 (予定)

ケーソン



ケーソン吊上作業



※②の写真は、過去の松山港での作業状況で今回作業のイメージ写真です。

## 起重機船



高知港湾・空港整備事務所より提供

※写真は、今回ケーソン吊上を行う起重機船「武蔵」による他港での作業状況です。

## 注意事項

- 注1) 現地ではヘルメットが必要になります。  
当事務所でヘルメットを用意する必要がある場合は、別添申込書に数量を記載ください。
- 注2) 足下の悪い場所での取材となるため、ヒールの高い靴などでの取材はご遠慮ください。
- 注3) 当日は気温が低いことが予想されます。防寒対策をお願いいたします。
- 注4) ケーソン吊上が延期になる場合は、2月14日（水）17：00までに判断して連絡いたします。  
なお、当日の最終判断で延期となった場合は、速やかに連絡いたします。
- 注5) 見学・取材エリアは、位置図の範囲を予定しています。工事の状況により変更する場合がありますので、その際は、工事関係者の指示・誘導に従ってください。

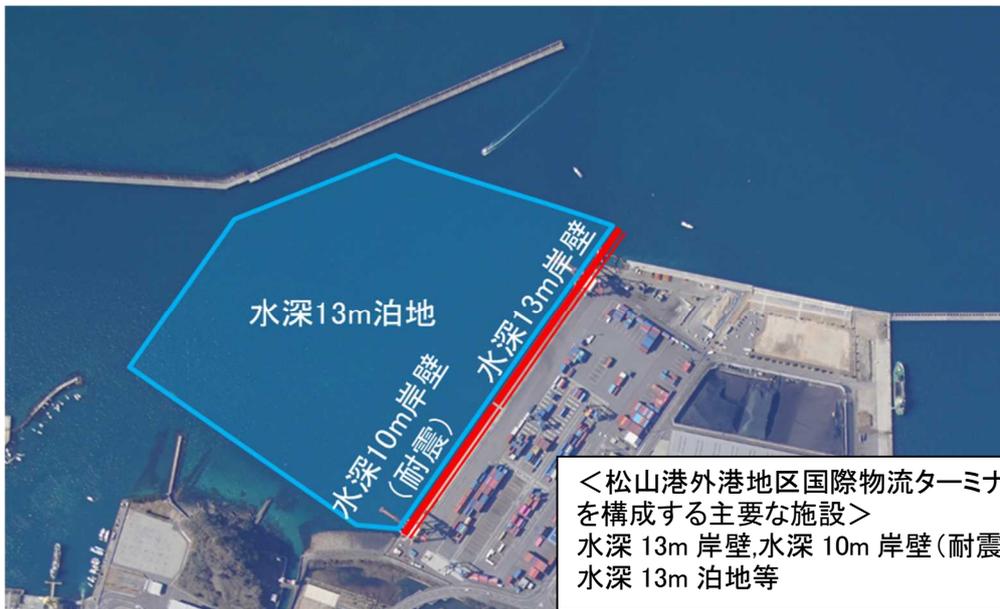
ケーソン据付場所



(国土地理院地図(標準地図)を基に松山港湾・空港整備事務所が作成)

松山港事業概要

現在、四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所では、増大する外貿コンテナ貨物や非効率な輸送体系にある外貿バルク貨物の輸送の効率化を図るとともに、大規模地震発生時の緊急物資輸送拠点とすることを目的として、「松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業」を実施しており、今回ケーソンの据え付けを予定している水深13m岸壁も事業を構成する施設の1つとなっております。



<松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業を構成する主要な施設>  
水深13m岸壁、水深10m岸壁(耐震)、水深13m泊地等

松山港湾・空港整備事務所

保全課 宛 (mail:pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp、FAX:089-967-6593)

松山港外港地区水深13m岸壁ケーソン吊上作業  
取材申込書

※作業延期時には記載のご連絡先に連絡致します。

2月14(水) 12時までにmail・FAXで申込みください。

貴社名		
連絡先	TEL:	mail:
代表者		
取材者 (人数)		
ヘルメット	ヘルメットが 個必要 ※当所で用意する必要がある場合は数量を記入ください	
連絡事項 など		

- ※陸上からの取材となります。
- ※取材予定時間は、作業の進行状況などにより前後することがあります。
- ※気象・海象状況等により予定を変更する場合があります。
- ※取材希望者が多数の場合は、人数等の調整をさせていただく場合があります。